

まるごとだより 第13号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



環境こだわり農産物の生産が広がり、地域の特産品づくりにつながっています

栽培面積が12,000haを超えた環境こだわり農産物。その8割以上は米ですが、野菜や果樹、そば、茶などいろんな作物でも取り組みは進んでいます。それらの中から、地域の特産品が生まれています。



【竜王町新村】(梨)



【米原市高番】(柿)



【野洲市吉川】(トマト)

目次

☆環境こだわり農産物の生産が広がり、地域の特産品づくりにつながっています。

☆地域の特性を活かした特産品づくり

☆わたしたちもがんばっています。パート1
「北環境を守る会」
(野洲市)

☆米原市の「まるごと対策」を紹介します。
(米原市)

☆わたしたちもがんばっています。パート2
「東老蘇エコ村保全会」
(安土町)



【近江八幡市東川】(しゅんぎく)



【多賀町檜崎】(そば)

発行 (2010.2)

滋賀県世代をつなぐ農村
まるごと保全地域協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地
水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806

FAX 0748-42-5574

Email: kyougikai@shiga-

nouson-marugoto.com



【米原市飯】(赤かぶ)



【高島市大沼】(茶)



【湖南市針】(なす)



お知らせ

★調査の協力を★
★お願いします★

まるごと対策の中間年となる今年度、滋賀県では、この対策がどれだけ役立っているのかについて評価し、より効果的な推進方策を考える「中間評価」に取り組んでいます。

ついては、この3年間に活動組織で取り組んでいただいた実施内容を記入していただく書面による調査と、職員が役員の方に直接お伺いする聞き取り調査を行いますので、みなさんのご協力をお願いします。

今後対策を進めていく上で、施策の評価はたいへん重要です。お手数をおかけしますが、ご協力よろしくお願いします。



活動組織さんからの投稿

★東円堂農村環境保存会（愛荘町）



昨年の12月26日育てたサカナを農業用水路に放流する活動が行われ、中日新聞などにもその日のにぎわいのある様子が掲載されました。



地域の特性を活かした特産品づくり



米でも、白米はもちろん、お餅やお酒など、地域の特性を活かした特産品づくりが進んでいます。



わたしたちもがんばっています！ パート1

北環境を守る会（野洲市）

代表 田中 忠男

野洲市北は、旧野洲町において一番北側に位置し、現在は146戸数ある農村集落です。この地は、俳人、歌人、国文学者として寛永元年（1624）に生誕された北村季吟（きたむらきぎん）先生の故郷であり、松尾芭蕉らの俳人を育て、「源氏物語湖月抄」をはじめ数多くの古典文学の注釈書を著しています。

集落のまわりは田園風景が広がっており、「まるごと」の取組面積は約75haです。また、河川も多くあり「童子川、家棟川、祇王井川」の三方に囲まれ、その内側の川「渡り瀬川、新川、サイコンデ川」が排水用の川になっています。一度大雨になると琵琶湖との水位差が1メートルほどしかないため内側の川（特に新川、渡り瀬川）が氾濫し、田は白海（しらうみ）状態になり作物に被害を及ぼします。

このような中、田では水稲、小麦、大豆に取り組み「環境こだわり米」に力を入れて頑張っています。

「まるごと」対策は2年遅れでスタートをすることになり、21年度から取り組んでいます。

参加組織は「自治会、農業組合、集落営農組合、老人会、ワイワイレディース、北遊遊俱樂部、子ども会、ウイズユー」さらに同年代での会「北友会、七七会」などの参加を得て、活動に取り組んでいます。

活動内容は、童子川・家棟川沿いの排水路、用水路の草刈りや泥上げ、新川・渡り瀬川・サイコンデ川の草刈り、清掃などの取り組みをはじめとして、墓地周辺の農道の草刈り、ゴミ拾いなどのエコ活動に取り組んでいます。

さらに、啓発活動としてサイコンデ川沿いに「川や田の生き物観察地」の看板（ベニヤ1枚）、渡り瀬川沿い「ゴミの不法投棄禁止」の看板を子ども会に書いてもらい設置しました。また、「北環境を守る会」の活動報告を年3回ウイズユーの

協力で発行しています。

その他にサイコンデ川で「魚つかみ」「蛭まつり」などを北遊遊俱樂部や子ども会の協力で生き物観察をしています。今後は、蛭も減少しているので「蛭を取り戻す」勉強会を計画していきます。

景観を作る活動では、サイコンデ川沿い200メートルに「芝桜」を植え、散歩する人や通行する人に大変喜ばれています。今後も増やしていきたいと考えています。

2年目に向け農村環境を守るために頑張っています。



米原市の「まるごと対策」を紹介します。



米原市には、日本百名山のひとつである伊吹山があります。その南には霊仙山があり、これら山々の森林に蓄えられた水は、姉川や天野川などの河川となって市域を流れ、母なる琵琶湖に注がれます。また、環境省が認定する名水百選の「泉神社湧水」、平成の名水百選の「居醒の清水」を有するまちでもあり、米原市は、美しい水と緑に包まれた自然豊かなまちです。

米原市の「まるごと対策」は、共同活動15集落（面積約653ha）、営農活動11集落（面積約180ha）が地域の特性を活かした取り組みをされています。

共同活動では、各活動組織で農業者を中心に年間計画を策定し、各農業施設の点検・診断を行い、維持管理に努めています。特に水路法面の管理では、その雑草対策にカバープランツや芝桜、ヒメイワダレソウの植栽をされている活動組織があり、施設の維持管理とともに地域の景観に配慮した取り組みをされています。

景観形成の取り組みでは、集落にある



休耕地にレンゲやコスモスの植栽をされている活動組織があります。こうした活動内容がわかるパネルを作成して、地域住民で行うイベントなどで紹介し、農業者以外の方にも田園景観を守り育てることの大切さを啓発されています。

また、生態系保全の取り組みでは、水田の生き物調査をはじめ、ニゴロブナの稚魚の放流や魚道の設置などの「魚のゆりかご水田」を実践されている活動組織が多く見られます。そのほか、源氏ホタルが多く生息する地域の活動組織では、ホタルの餌となるカワニナの放流活動とあわせて、ホタルの生活史を考慮し、6月中は草刈りをしないことや生息環境を保全するために排水路の清掃や泥上げを工夫されています。

米原市 農林振興課



こうした生態系保全の取り組みを各活動組織が地域の特性によって工夫され、積極的に取り組んでおられることが米原市の「まるごと対策」の特徴の1つと言えます。

一方、営農活動では、水稻をはじめ大豆、そば、ブロッコリー、柿などの環境こだわり農産物を栽培し、こだわり農産物の生産を通じて、環境負荷の低減に尽力されています。一部の農産物は、市内の学校給食で使用されているほか、地域の特産品として道の駅などで販売されています。



最後に、「まるごと対策」も3年目を迎え、協定期間の中間年となる時期になりました。各活動組織においては、日頃の活動とあわせて、記録の整理や書類の作成などにも尽力いただいています。また、今年度は将来の体制づくりについて話し合っていたいただき、体制整備構想（案）を取りまとめいただくこととなります。今後もこの対策が、地域農業の体制づくりにより成果となるよう、また、米原市の農業の振興と発展につながる取り組みとなるようご協力をお願いします。

質問コーナー

★(質問)

魚のゆりかご水田プロジェクトの取り組みについて教えてください。

(答え)

琵琶湖から田んぼへ魚が産卵にやってくる、かつての命あふれる水田環境を再生するプロジェクトで、平成21年度は26地域、約111haの水田で取り組まれています。湖辺の水田での生態系保全の取り組みとしてチャレンジしてください。出前講座も実施していますので、お気軽にご相談ください。



フォトコンテスト入選作品
園田 弘さん(栗東市)



フォトコンテスト入選作品
竹村 清さん(日野町)



フォトコンテスト入選作品
中村 治一さん(近江八幡市)



フォトコンテスト入選作品
橋本 博さん(野洲市)

お知らせ

★本地域協議会で
は、いち早く活動組
織の皆様には様々
な情報をお届けす
る“メールマガジ
ン「にぎわい通信
」”をインターネット
で配信しています。

登録していただ
ける方は、地域協
議会までご連絡
下さい。

もちろん、個人
情報の管理は適
正に行い、本対
策にかかる情
報配信以外の
目的には一切
使用いたしません。

研修会や広報誌
の発行案内など
を発信して好
評をいただい
ております。

Mail

★ご意見・要望、今
年度の活動の反
省、この情報誌
に関する感想
など何でも結
構です。皆様
の声を聞かせ
下さい。この
情報誌や、協
議会のホーム
ページなどで
ご紹介させて
いただきます。

編集後記

★昔から「1月は
行く、2月は逃
げる、3月は去
る」と言いま
すが、アツとい
う間に今年度
も終盤にさ
しかかりました
。今年度の残
りの活動に漏
れの無いよう
注意しましょ
う・・・と自
分に言い聞か
せている今日
この頃です。
(A.W)



わたしたちもがんばっています！ パート2

東老蘇エコ村保全会 (安土町)
代表 井上 龍一

安土町東老蘇地区は、平成6年にほ場整備が完了し、ほ場は乾田40%、湿田60%に分かれ、乾田地区は昔からビール麦の産地であり、今も継続して作付けをしています。

当集落は、グリーンファーム21(41戸・57ha)の営農組織と担い手農家が2戸および個々の農家が5戸で集落全体では8戸の農家が70haの優良農地を集落営農で保全しています。

また、全ての農家が環境こだわり農業に取り組み、環境に配慮した共同作業に非農家も積極的に参加し、活動をしていただいていることが我が集落の特徴です。今後も引き続き環境に配慮しながら、消費者に安全・安心な農産物を提供していきたいと考えています。

◆濁水防止対策に堰の設置◆

濁水を流さないように見回り点検に取り組んでいますが、濁水はどことなく流れてくる



ことから、各支線排水路ごとに三カ所の堰を設けて濁水防止に努めております。

◆環境こだわり農業への理解求める◆
田んぼの学校、都市と農村の交流の取り組みであるJAふれあい田んぼ教室やジャガイモのオーナーの集い等で多くの家族を受け入れています。

農業者が環境にこだわった農産物を生産していることをこの活動を通して、子ども達や消費者に知ってほしいと毎年がんばっています。



◆三年で農村風景を蘇らす◆

昔の農村風景は、秋に曼珠沙華(彼岸花)がいたる所に咲いていましたが、ほ場整備でその姿は消えてしまいました。幸いにも集落の一角に僅かな群生があることから、子ども達に昔ながらの農村風景を引き継ぐために老人会の手で蘇らす活動が芽生え、毎年計画的に400mの沿道に球根を移植し、3年で『曼珠沙華街道』を見事に蘇らすことができました。



滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

農村まるごと

検索



菩提寺ふるさとを守る会
(湖南市菩提寺)



あめふりの保全の会
(豊郷町雨降野)



蘭生・水と緑を守る会
(高島市今津町蘭生)